



山形労働局 先輩職員からのメッセージ

氏名：木村 晃大（平成29年度採用）

所属：ハローワーク山形 雇用保険適用課 適用係

【現在の仕事内容は】

雇用保険適用課で、雇用保険の手続きの仕事を行っています。具体的には、雇用保険の加入や離職の手続き、また60歳以上で働かれている方の高年齢雇用継続給付金の申請手続きや、育児休業給付金の手続き等も行っていきます。雇用保険は事業所単位での手続きが主となるので、窓口での対応は事業所の方とのやり取りが多くなっています。

【公務員を目指した理由は】

私が労働行政に携わろうと思った理由は、雇用という面から、地域の活性化に貢献したいと考えたからです。今は地方の人口流出や、雇用のミスマッチが問題となっています。労働行政も職業紹介から雇用保険まで様々な分野がありますが、そのような業務を行い、人が働きやすい環境を作り出していくことで地域を活発なものにできるのではないかと考えました。

【仕事で苦労したことは】

窓口業務となるので、様々な方がいらっしゃいます。ニーズをうまく聞き出す必要があるのですが、その対応に難しさを感じています。また、雇用保険は覚えることが多く、窓口や電話対応の際、すぐに回答できない場面が多々あります。覚えることが多いということは、自分の成長が実感しやすいということでもあります。できることが増えると、達成感にもつながります。

【公務員になってよかったことは】

研修が充実していると思います。特に新人研修では、東北ブロックの新規採用職員が集まって行うものがあります。県内だけでなく県外の職員ともつながることができることは、業務を行う上でも非常に参考になります。また、休暇も取りやすく、ワークライフバランスに長けているのも魅力の一つです。自分の時間をしっかり取ることができるので、気持ちよく仕事に取り組むことができます。

【公務員を目指す方へのメッセージ】

試験の勉強や面接の練習等ある中で、不安や迷いを感じている方もいると思います。非常に大変な時期だと思いますが、それを乗り越え自分を信じ、目指す公務員になれるように頑張ってください。覚えることが多く経験も必要になる業務で、私もまだまだ未熟者ですが、一緒に働ける日を心待ちにしております。応援しております！



山形労働局 先輩職員からのメッセージ



氏名：佐藤 陽奈（平成29年度採用）

所属：ハローワーク鶴岡 雇用保険課 適用係

【現在の仕事内容は】

労働者が失業した場合や、育児や介護などで雇用の継続が困難となった場合に、生活と雇用の安定を図るための「雇用保険」に関する仕事をしています。主に事業所に対して、労働者を新たに雇用したり、労働者が離職したりした際に必要な雇用保険の手続きを行っています。

【公務員を目指した理由は】

より多くの人々の生活の基盤を支える仕事に携わりたいと思ったからです。働くということは、自分や家族の生活のためだけではなく、自己実現のためにも欠かせないものです。また、人生の中で多くの時間を費やすので、とても身近なものでもあります。そこで、労働という面から人々を支援したいと思い、労働局を志望しました。

【仕事で苦労したことは】

雇用保険の制度や仕組みについて、幅広い知識が必要なことです。雇用保険の内容を理解し、事業所に対してわかりやすい説明をすることに苦労しています。また、窓口業務のため、適正かつ迅速な対応が求められます。周りの先輩方に指導してもらいながら、確実にできる業務を少しずつ増やし、スムーズに対応できるように日々努力しています。

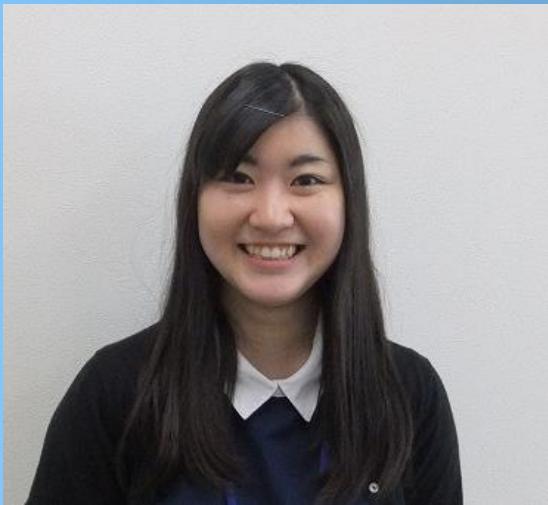
【公務員になってよかったことは】

窓口業務を通じ、様々な事業所の方と関わることができることです。今まで接することのなかった職業についての理解が深まり、自分の視野を広げることができます。また、研修の際には全国の労働局職員と交流ができ、各地に仲間がいると思うととても心強くなります。さらに、週2日のノー残業デーがあったり、年次休暇が取得しやすかったりと、ワークライフバランスが取りやすい職場環境です。

【公務員を目指す方へのメッセージ】

労働行政は、人々にとって重要な「働く」ということを、様々な視点から支援している責任のある仕事です。業務の幅が広く大変なこともありますが、人々の生活に直接的に関わっていることを実感でき、とてもやりがいがあります。みなさんも様々な業務説明会に積極的に参加し、自分にとってやりがいのある仕事を見つけてください。応援しています！





山形労働局 先輩職員からのメッセージ

氏名：葛西 絢乃（平成28年度採用）
所属：ハローワーク山形 庶務課 庶務係

【現在の仕事内容は】

ハローワーク内の物品や消耗品の管理、職員の給与・旅費計算の手続きなどの仕事を行っています。直接利用者の方と接する機会は窓口業務より少ないですが、職員の皆さんがより働きやすいようにサポートのような役目を担っております。

【公務員を目指した理由は】

私は大学進学を機に県外へ移住をしたのですが、将来は地元で人と関わりながら生活の役に立てる仕事がしたいと思い、公務員を目指しました。その際、試験等必要な情報の入手に苦勞したことがきっかけとなり、私と同じように地元就職（Uターン就職）を希望しているもの大変な思いをしている方もいるのでは？と思ったことから、その支援に携わりたいと考え労働行政を志望しました。

【仕事で苦勞したことは】

「当たり前」の環境を保持することの大変さを痛感しております。今の仕事は自分が想像していた以上に幅広く、以前に担当していた業務と繋がりがああるものもあれば、新たに覚えなければならないことも数多くあります。職員の皆さんにとっての「当たり前」を保持するだけでなく、より仕事がスムーズに進むよう、たくさんのご指導をいただきながら日々勉強の毎日です。

【公務員になってよかったことは】

職場の雰囲気が温かく、環境に恵まれていることです。採用1年目は飛び交う専門用語に戸惑い、分からないこと・不安なことばかりでしたが、些細なことでも親身になって相談にのってくださる素敵な上司や先輩がいましたのでとても心強かったです。また、県内や全国の同期と出会えたことも大きく、仕事の話はもちろんですが、仕事以外でも一緒に遊びに行くなど、公私ともに頼れる仲間ができることも魅力のひとつだと思います。

【公務員を目指す方へのメッセージ】

生活の中で必要不可欠である「働く」ことと向き合う仕事は、責任重大ではありますが、それ以上にやりがいを身近に感じる瞬間が多いのではないかと思います。合格まで長期戦となり上手くいかないこともあるかもしれませんが、最後まで諦めず頑張ってください！





山形労働局 先輩職員からのメッセージ

氏名：田中 弘幸（平成20年度採用）

所属：ハローワーク米沢

職業相談・求人部門 上席職業指導官

【現在の仕事内容は】

職業相談・求人部門と雇用保険課での仕事を兼任しています。仕事を探されている方に、就職の相談や求人への紹介、就職支援セミナーや就職ミニ面接会の開催などを行ったり、退職された方が安心して就職活動に専念できるよう、雇用保険受給の手続きや支給認定手続き、給付に関する相談も行っています。

【公務員を目指した理由は】

元々は学校の教員を目指し、大学卒業後に高等学校講師として勤務していた時に進路指導担当をしました。その時に、ハローワークの職員や学卒ジョブサポーターの方から就職を目指す学生に対して講演会や面接指導を行ってくださり、こういった仕事もあるんだと興味を持ち、私も仕事を探されている方の就職を支援する仕事をしたいと思い、労働局を志望しました。

【仕事で苦労したことは】

1年で担当する業務や勤務する職場が変わったことです。仕事を覚え、職場にも慣れ、業務をなんとか熟せるようになり、よしこれからと思った2年目に異動の辞令が出た時はショックでした。しかし、また一つ新しい仕事を覚え業務を熟せるようになり、職場で多くの方々と仕事を共にすることも出来るため、経験を積みながら新鮮な気持ちで仕事をする事が出来ています。

【公務員になってよかったことは】

利用者の方に笑顔で「ありがとう」と言ってもらえることです。どんなに忙しくて疲れていても、窓口対応が上手く出来ず落ち込んでいても、笑顔で一言「ありがとう」と言ってもらえると、頑張った良かった、丁寧に対応して良かったと思うことができ、また頑張ろうと思う事が出来ます。利用者の方にハローワークに来て良かったと思って頂けるよう、丁寧な対応を心がけています。

【公務員を目指す方へのメッセージ】

ハローワークの仕事は、生活するうえで欠かせない「働く」ことにとっても関わりがあります。「働く」ことは、希望や生きがいを持つことが出来ると同時に、時には不安や辛さを抱えることもあります。ハローワークはそんな不安や辛さを少しでもなくし、希望や生きがいを少しでも多くする、とてもやりがいのある仕事です。一人でも多くの皆さんに興味を持って頂けたらと思います。





山形労働局 先輩職員からのメッセージ

氏名：横山 千香（平成20年度採用）

所属：ハローワーク寒河江 管理課 業務主任

【現在の仕事内容は】

雇用保険の給付業務を担当しています。離職した方への失業等給付や教育訓練を受講した方への給付などの様々な給付金について、受給資格があるか確認し支給処理を行います。来所された方と直に接する窓口業務が主ですが、それ以外にも事務処理が多くあります。

【公務員を目指した理由は】

もともと事務職に就きたいと考えていたのですが、同時に誰かの助けになる仕事をしたいという気持ちもあり、広く人々の役に立てる公務員を目指しました。中でもハローワークは地域の人々と接する機会が多く、「誰かの助けになる」ことが一番実感できそうだと思います。

【仕事で苦労したことは】

公務員に限りませんが、配属先によって担当する業務が大きく変わることです。ハローワーク内でも雇用保険に関する業務、職業の相談・紹介をする業務、事業主から求人を受け付ける業務、庶務的な業務など様々です。ただ、基礎となる法律・制度など知識の部分では変わりませんので、経験する業務はすべて自分の力になっていきます。

【公務員になってよかったことは】

特にハローワーク職員としては、仕事を探している方に対してご希望に沿うような求人を紹介し、見事に採用された時、大きなやりがいを感じました。直接お礼を言われる場面もありますのでモチベーションが高まり、自分のスキルアップにも意欲的になれます。

また、各種業務に関する研修を受ける機会が設けられていることも魅力の一つです。

【公務員を目指す方へのメッセージ】

公務員は国民の皆様の生活に直結する重要な仕事を担っています。大変なことも多いかもしれませんが、責任は重大ですが、その分感じられるやりがいも大きいと思います。労働行政に関心のある方、ぜひ一緒に働きましょう！お待ちしております！



山形労働局 先輩職員からのメッセージ

氏名：大段 浩美（平成18年度採用）

所属：山形労働局総務部総務課
会計第一係 会計主任

【現在の仕事内容は】

職員等が出張した際に、交通費などの旅費計算と支払いを主に担当しています。交通費などは、行程が経済的なものとなっているか、切符や宿泊先の領収書等を確認しながら正確な計算を行っています。その他にも、山形労働局で開催する委員会等の委員の方々や、講演を行なっていただいた講師の方への謝金や旅費の支払いなども担当しています。

【公務員を目指した理由は】

人の暮らしを支えるような仕事がしたい。「それならば公務員試験を受けよう」初めは漠然とした理由でした。どんな官庁があるか調べている中で労働局を見つけ、何となく仕事の内容に関心をもったこと、専攻していた心理学が活かせそうだなと思ったことなどから業務説明会に参加しました。そこで人事担当の方から聞いた「やりがいを感じた仕事」のエピソードに感動し、私もそんな仕事がしてみたいと思ったことから志望しました。

【仕事で苦労したことは】

採用から4年目の時に、職員数が少ないハローワークに配属となりました。利用者の数は他のハローワークと比べ少ないものの、職員一人一人が担当する業務は幅広く、当時は経験も浅く初めて経験する業務ばかりで一通りの仕事を覚えるのに苦労しました。利用者の方々には私の経験が浅いことは関係ないので、できるだけ早く仕事を覚えて質問や相談に適切に答えることができるようになりたいと、毎日必死に勉強したり上司に質問したりしていました。

【公務員になってよかったことは】

福利厚生がしっかりしていることです。私には小さい子供が二人います。子供の急な体調不良で保育園から呼び出しがあることも多く、こういった場合に使える休暇制度が大変ありがたいです。また、急に休暇を取ることでその分の仕事を取り返すのが大変なのですが、周りの職員の方は育児に理解がある方が多く、フォローを申し出ってくれる方もいるので助けていただいています。私も育児が落ち着いたら、フォローを申し出る側になってこの恩を返していきたいと思っています。

【公務員を目指す方へのメッセージ】

人にとって働くことで得られるものはお金だけではなく、生きがいや社会とのつながりなど様々であり、人生のそういった部分を支えるのが私たちの労働行政です。みなさんのお一人お一人が志望通りの道に進まれることを祈っておりますが、もし私たちの行政に興味を持ってくださる方がいましたら、一緒にお仕事できる日が来ることを楽しみにお待ちしております。

